



生徒支援室だより (第3号)

今年は夏休みが9日間。短い夏休みでしたが、みなさん、リフレッシュできましたか。まだまだ残暑厳しい日が続きます。さて、新学期がスタートしました。2学期は、学校がなんとなくしんどくなる人が多く出る時期でもあります。そんなとき、また、悩みや心配事が気になってしかたがないときは、ひとりでかかえこまず、遠慮なく教育相談室をのぞいてみてください。ひとりきりで悩む必要はありません。一緒に悩みを考えていくと、少しでも気持ちが軽くなるかもしれませんよ。希望すれば、カウンセラーの先生にも相談できます。

1. 今月のおはなし

ハチドリのおはなし ～いま、私にできること～

つじ しんいち
監修 辻 信一

(この物語は、南アメリカの先住民に伝わるおはなしです)

森が燃えていました
森の生きものたちは われ先にと逃げていきました
でもクリキンディという名のハチドリだけはいたりきたり
くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは
火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て
「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います
クリキンディはこう答えました
「私は、私にできることをしているだけ」



みなさんは、このお話をどのように感じましたか。

この物語のあとに、この本の監修をした辻 信一さんによる後書きがこうあります。

クリキンディの話をしてくれたアルカマリ(友人の南米の先住民)は、話のあとにこうつけ加えたものです。
「あまりに大きな問題にとりまかれている私たちは、ともすれば、無力感におしつぶされそうになります。でもそんな時は、このハチドリのことを思い出してくださいね」と。

さて、燃えていたあの森はその後、どうなったのでしょうか。森は燃えてなくなってしまったのでしょうか。それとも……。

物語の続きを描くのはあなたです。

私たちはいま、(今の私たちが生きてきた中で)かつて経験したことのない出来事に直面し、右往左往しています。さまざまなことには「波」があって、骨を折ってきたことに対して手応えが感じられるときも、また、こんなにも気持ちを傾け、行動を律しているのにと心が折れるときもあります。けれど、クリキンディの物語が私たちに教えてくれることは、「世界は、私たちひとりひとりからできている」ということ、そして、その「ひとりひとりの小さな一歩が、少しずつ世界を変えていく」ということなのではないでしょうか。

2. 教育相談室へどうぞ♪

ちょっとした心配なこと、困っていること、不安なこと、いろいろすることなど、話をしたいことはありませんか？

- ① 場所 本館2階理科準備室の隣にあります。

化学 教室																	物理教室			
	理科 準備室	教育相談室				生徒相談室	進路指導室													

※ 教育相談担当の先生が、随時相談を受け付けています。



② 教育相談・カウンセリングの相談申し込み方法

ア、メールアドレスに「相談したい」とメールを送る（学年・クラス・氏名を忘れずに）。

相談メールアドレス：tako_soudan_ijime_nayami@yahoo.co.jp



イ、教育相談室に来室する。

ウ、担任の先生や保健室の先生、図書館の先生、その他、頼みやすい先生を通じて申し込む。

③ サポステ出張相談

水曜日の昼休憩に南紀若者サポートステーションの方が来てくれています。

進路についての相談や、その他いろいろな悩み相談を受け付けてくれています。

日程の変更等は、担任の先生を通じて連絡します。



④ スクールカウンセラー来校予定日 (予約制です!)

8月、9月、10月の予定は

8月24日(月)・31日(月)

9月7日(月)・14日(月)・28日(月)

10月5日(月)・12日(月)・19日(月)

です。

日時は変更する場合があります。ご相談の際は、事前に連絡・予約をお願いします。

⑤ スクールソーシャルワーカー来校予定日

8月、9月、10月の予定は

8月26日(水)

9月9日(水)・16日(水)・30日(水)

10月14日(水)・21日(水)・28日(水)

です。

日時は変更する場合があります。